

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
天理	近畿・奈良	2	0	0	2	5	2	0	0	1	12	12	2
市川工業	千葉	0	0	0	0	6	1	1	0	0	8	4	5

天理		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	左		峪口 宥人	5	2	3	1	中安	三邪		三安	左安		投ゴ		死球			
2	投		岡田 民生	4	0	0	0	三ゴ	遊飛		一邪	中飛							
2		投	右	浅井 幸喜	1	0	0	0							死球	三振			
3	右		森口 晴信	5	2	1	0	死球		中飛		左安	三ゴ	中飛		二失			
4	捕		三好 完太	5	1	2	1	左安	遊ゴ		投ゴ	三安	四球		遊飛				
5	遊		西井 太旨	4	1	0	0	三振		二ゴ		四球	四球	遊飛		一ゴ			
6	一		刑部 雅史	4	1	1	0	遊飛			三ゴ	遊ゴ	死球		左安				
7	三		森口 信宏	5	2	2	3		捕飛		左本	遊失	左安		投ゴ				
8	二		畦越 純	4	2	2	1		一失		右3	左2	捕邪		四球				
9	中		石井 俊	3	1	1	3		遊失		遊選	右安							
9		中	大江 治義	2	0	0	0							三振	捕併				
合計				42	12	12	9	残塁:11 併殺:0											
備考																			

■バッテリー

投手	捕手
岡田 民生	三好 完太
浅井 幸喜	
森口 晴信	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
岡田 民生	4	0/3	16	0	1	4
浅井 幸喜		1/3	4	1	0	0
森口 晴信	4	2/3	20	3	4	2

市川工業		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	二		金田 皓平	5	1	2	2	一ゴ			左飛	右安	中安		投ゴ				
2	左		猿田 千弘	4	0	0	1	投ゴ			遊ゴ	四球		三振		三ゴ			
3	遊		三橋 拓未	4	1	0	0	一ゴ			遊ゴ	遊ゴ		四球		三振			
4	中		相模 武	4	1	0	0		右邪			四球	三失		投飛	左飛			
5	捕		菅原 優人	3	1	1	1		遊飛			四球	投飛		中3				
6	投		近藤 真澄	2	0	0	0		三振			四球		四球	遊ゴ				
7	一		吉田 穂	3	2	1	0			遊飛		四球		三安	三振				
8	右		市原 拓也	2	1	0	0			遊ゴ		死球		三振					
8		打	右	中野 龍也	1	0	0	0								二ゴ			
9	三		宮下 雷麻	4	1	0	0			右ゴ		遊ゴ		投ゴ		投ゴ			
合計				32	8	4	4	残塁:5 併殺:1											
備考																			

■バッテリー

投手	捕手
近藤 真澄	菅原 優人

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
近藤 真澄	9		50	12	3	8

■戦評

準々決勝に引き続き江戸川球場で行われた準決勝は、準々決勝を延長の末制した千葉県立市川工業高校と大量得点によるコールドで制した天理高校の対戦となった。初回に2点を先制した天理は4回7番森口(信)の左翼越本塁打などで2点を追加する。続く5回には相手の失策を逃さず8番畦越の適時二塁打や9番石井の2点適時安打などで5点を奪い大差をつける。4回まで一人の走者も出せずにいた市川工業は5回、突如制球を乱した天理投手陣から三つの押出四死球と1番金田の適時安打などで6点を奪い3点差に迫る。引き離したい天理は6回森口(信)の2点適時安打により5点差と再び点差を広げる。粘る市川工業は6回金田がこの試合2本目となる適時安打を放ち、7回は5番菅原が適時安打を放ち1点ずつを返し必死に食い下がったが、反撃もここまで。9回に1点を追加した天理が12-8で逃げ切り10連覇に王手をかけた。一方敗れた市川工業であったが4試合で平均8得点を奪う隙の無い攻撃とそれを裏付けるチーム一丸となって最後まであきらめずに戦い抜く姿勢は全国三位にふさわしいものであったことは言うまでもないだろう。